

6. 江の川

(1) 水域の概況

江の川は、広島県山県郡北広島町阿佐山にその源を發し、幾つもの小支川を合わせながら盆地の上を北東に流れ、途中三次市において同規模の馬洗川、西城川を三方向より合わせて西流し、河口までは先行性峡谷を通り島根県江津市において日本海に注ぐ流域面積3,900km²、幹川流路延長194kmの中国地方最大の川である。

(2) 水質の状況

1) 水域類型指定状況（図 6.1）

既存生活環境項目（BOD・COD・全窒素・全リン等の水生生物保全環境基準を除く項目）の水域類型指定状況は、全域はA類型に指定されている。また、土師ダム貯水池は湖沼A類型・窒素リンⅡ類型に当てはめられている。

2) 水質汚濁の状況（表 6.1、図 6.2～図 6.4）

BOD75%値の5年平均の比較図を見ると、近年の水質改善より上流から下流までAタイプのレベルが維持されている。

3) 亜鉛の水質の状況（図 6.5～図 6.7）

全亜鉛は上流の壬生、中流の都賀でやや高めの値を示すが、概ね全般的に0.001mg/L以下となっている。

当該河川へ直接亜鉛を放流されている事業所は3箇所あり、年度排出量が1000kg超・100kg超・10kg超・1kg超・1kg以下の順で見ると、0件・0件・1件・1件・1件となっている

(3) 水温の状況（図 6.8、図 6.9）

水温は、上流から見て都賀までは平均水温が15℃以下、平均最高水温が土師ダムを除く地点では23～26℃程度であり、下流部の川本大橋から江川橋までは平均水温が16℃前後、平均最高水温が27℃程度まで達している。

(4) 水域の構造等

1) 河床材料（図 6.10）

河床材料は、上流～土師ダムまでが礫、土師ダム～川平までが岩・石・礫、川平から下流は砂・泥が主体となっている。

2) 流量（図 6.11）

流量は吉田等5地点で測定されており、それぞれの低水流量は地点・吉田で約5 m³/s、栗で約15 m³/s、尾関山で約20 m³/s、都賀で45 m³/s、川平で55 m³/s程度となっている。

3) 主な河川構造物（図 6.12）

ダムについては最上流に土師ダム、下流に浜原ダムが設置されており、堰等については上流から下流に見ると入江床止工、常友堰、高樋堰、江の川取水堰が設置されている。土師ダム以外の堰・ダムにはいずれにも魚道が設けられている。

(5) 魚介類の生息状況 (表 6.2、表 6.3、図 6.13、図 6.14)

1) 冷水性の魚介類

(a) 基礎情報

河川水辺の国勢調査等によると、冷水性魚介類は最上流の北広島町西横で確認されているが、それ以外には確認されていない。

(b) ヒアリング情報

表6.3のとおりとする。

2) 温水性の魚介類

(a) 基礎情報

温水性の魚介類は一般的にコイ・フナ類・オイカワ・ウグイ・ヨシノボリ・ウナギ等が確認されている。また、ほとんどの地点でアユが確認されている。

(b) ヒアリング情報

表6.3のとおりとする。

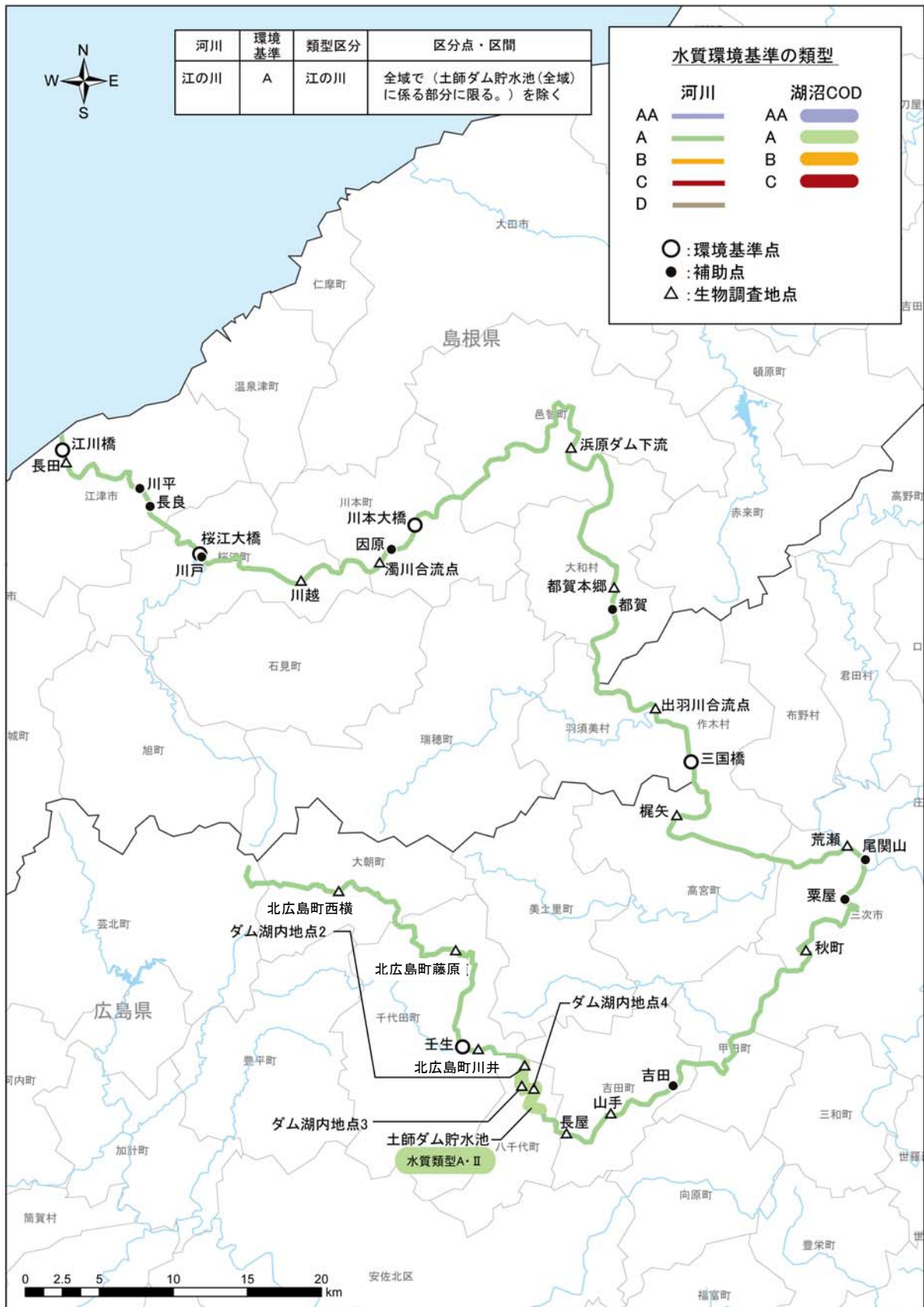


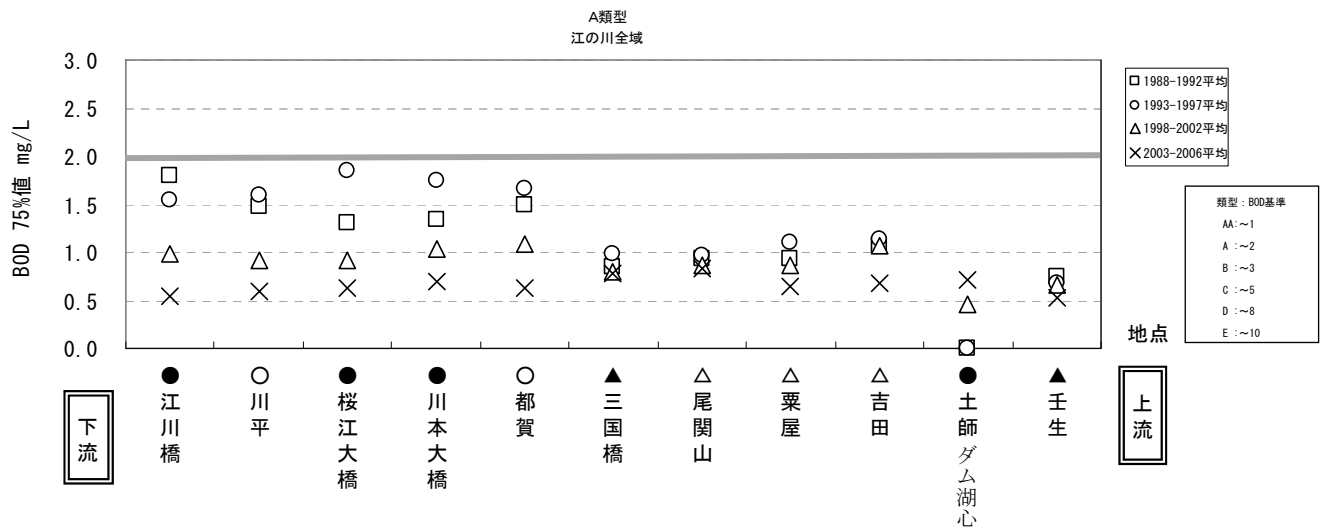
図 6.1 水質汚濁に係る環境基準の類型指定状況(江の川)

表 6.1 近年の水質の状況（江の川）

水域	類型	環境基準点	年度	BOD(mg/L)				基準	pH			DO(mg/L)				基準	SS(mg/L)			基準	大腸菌群数(MPN/100mL)			
				最小値	最大値	平均値	75%値		最小値	最大値	基準	最小値	最大値	平均値	基準		最小値	最大値	平均値		基準	最小値	最大値	平均値
江の川	A	壬生	H16	< 0.5	0.8	0.6	0.6	2	6.8	7.5	6.5~8.5	8.3	12.0	10.0	7.5	< 1	5	2	25	1,100	79,000	12,000	1,000	
			H17	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5		7.0	7.6		8.0	13.0	10.0		< 1	4	2		170	130,000	23,000		
			H18	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5		7.2	7.6		8.7	13.0	11.0		< 1	4	2		170	49,000	7,800		
江の川	A	吉田	H16	< 0.5	1.0	0.7	0.9	2	7.2	7.5	6.5~8.5	7.7	11.0	9.5	7.5	< 1	9	3	25	2,200	540,000	57,000	1,000	
			H17	< 0.5	2.1	0.9	1.0		7.0	7.5		7.5	12.0	9.6		1	8	4		790	33,000	10,000		
			H18	—	—	—	—		—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—
江の川	A	粟屋	H16	0.5	1.3	0.7	0.8	2	7.4	8.0	6.5~8.5	8.5	12.0	10.0	7.5	< 1	21	5	25	490	11,000	4,900	1,000	
			H17	< 0.5	2.0	0.8	1.0		7.3	7.9		8.1	13.0	9.9		< 1	8	4		490	11,000	3,600		
			H18	—	—	—	—		—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—
江の川	A	尾関山	H16	< 0.5	1.8	0.7	0.7	2	7.2	8.8	6.5~8.5	6.2	13.0	10.0	7.5	1	39	5	25	330	110,000	10,000	1,000	
			H17	< 0.5	1.8	0.8	1.0		6.8	8.8		6.8	13.0	10.0		< 1	7	4		330	23,000	4,600		
			H18	< 0.5	1.6	0.7	0.8		6.9	8.4		7.2	13.0	10.0		< 1	19	5		170	110,000	11,000		
江の川	A	三国橋	H16	< 0.5	1.2	0.6	0.7	2	7.3	7.9	6.5~8.5	7.7	12.0	9.6	7.5	< 1	20	4	25	330	17,000	4,600	1,000	
			H17	< 0.5	1.5	0.7	1.0		7.2	8.0		7.7	13.0	10.0		< 1	6	3		700	6,300	2,500		
			H18	0.5	0.8	0.6	0.7		7.2	7.6		7.5	12.0	9.8		1	11	5		330	33,000	7,300		
江の川	A	都賀	H16	< 0.5	1.1	0.6	0.6	2	6.9	7.6	6.5~8.5	8.3	13.0	10.0	7.5	< 1	22	4	25	330	13,000	2,800	1,000	
			H17	< 0.5	1.0	0.6	0.6		6.5	7.5		8.2	13.0	10.0		< 1	11	3		70	13,000	2,600		
			H18	< 0.5	1.1	0.6	0.7		6.6	—		8.3	13.0	10.0		< 1	31	4		490	17,000	4,400		
江の川	A	川本大橋	H16	< 0.5	0.7	0.6	0.7	2	7.1	7.4	6.5~8.5	8.7	12.0	10.0	7.5	< 1	6	2	25	230	4,900	1,800	1,000	
			H17	< 0.5	1.0	0.6	0.7		6.8	7.4		8.2	13.0	10.0		< 1	9	3		170	24,000	3,900		
			H18	< 0.5	1.3	0.7	0.7		7.0	—		8.0	12.0	10.0		< 1	9	3		49	9,400	2,300		
江の川	A	桜江大橋	H16	< 0.5	0.8	0.6	0.6	2	7.1	7.4	6.5~8.5	7.6	12.0	9.8	7.5	< 1	8	2	25	170	4,900	1,600	1,000	
			H17	< 0.5	0.9	0.6	0.6		6.9	7.4		8.2	13.0	10.0		< 1	9	3		220	4,900	1,600		
			H18	< 0.5	0.9	0.6	0.6		7.0	—		7.9	13.0	10.0		< 1	5	2		49	4,900	1,700		
江の川	A	川平	H16	< 0.5	1.0	0.6	0.6	2	7.1	7.6	6.5~8.5	7.7	13.0	9.9	7.5	< 1	8	2	25	49	13,000	2,000	1,000	
			H17	< 0.5	0.9	0.6	0.6		6.9	7.8		8.1	13.0	10.0		< 1	8	3		110	54,000	2,900		
			H18	< 0.5	1.4	0.6	0.6		6.9	—		8.0	13.0	10.0		< 1	5	2		33	7,000	1,600		
江の川	A	江川橋	H16	< 0.5	0.5	0.5	0.5	2	7.0	7.8	6.5~8.5	7.7	12.0	9.6	7.5	< 1	2	1	25	130	130,000	14,000	1,000	
			H17	< 0.5	0.8	0.6	0.6		6.9	7.7		8.5	12.0	9.9		< 1	4	2		170	7,900	2,300		
			H18	< 0.5	0.8	0.6	0.6		6.7	—		8.7	11.0	9.8		< 1	2	2		79	4,900	1,800		

水域	類型	環境基準点	年度	COD(mg/L)				基準	pH			DO(mg/L)				基準	SS(mg/L)			基準	大腸菌群数(MPN/100mL)			
				最小値	最大値	平均値	75%値		最小値	最大値	基準	最小値	最大値	平均値	基準		最小値	最大値	平均値		基準	最小値	最大値	平均値
土師ダム貯水池	A	土師ダム 湖心	H16	1.4	2.9	2.1	2.5	2	6.4	9.4	6.5~8.5	< 0.5	12.0	9.1	7.5	1	6	3	25	4	4,900	810	1,000	
			H17	1.5	3.5	2.3	2.6		6.9	8.5		4.4	12.0	9.3		< 1	6	3		13	11,000	1,300		
			H18	1.7	3.9	2.4	2.7		6.7	8.5		5.5	12.0	9.6		1	12	4		11	35,000	3,600		
水域	類型	環境基準点	年度	全窒素(mg/L)				全りん(mg/L)																
土師ダム貯水池	Ⅲ	土師ダム 湖心	H16	0.53	0.81	0.66	0.4	0.011	0.047	0.023	0.03													
			H17	0.48	0.76	0.61	0.4	0.012	0.032	0.020														
			H18	0.49	0.83	0.63	0.4	0.009	0.061	0.024														

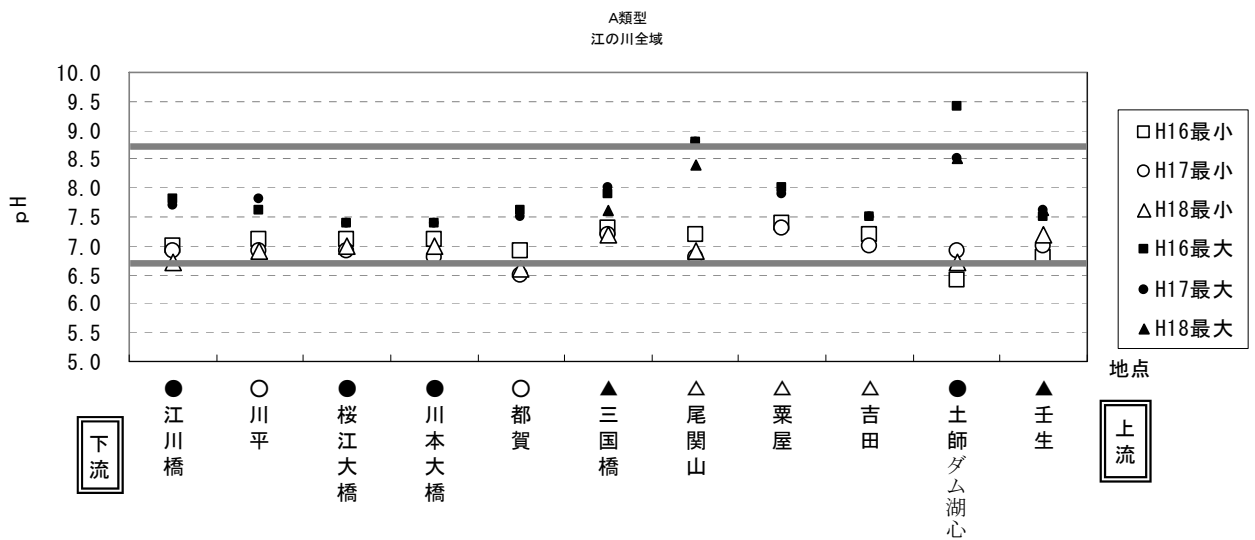
出典：公共用水域の水質測定結果(平成16年～18年度)



地点：環境基準点 (●) ・補助点 (○) ・流量測定点 (▲/△)

出典：公共用水域の水質測定結果

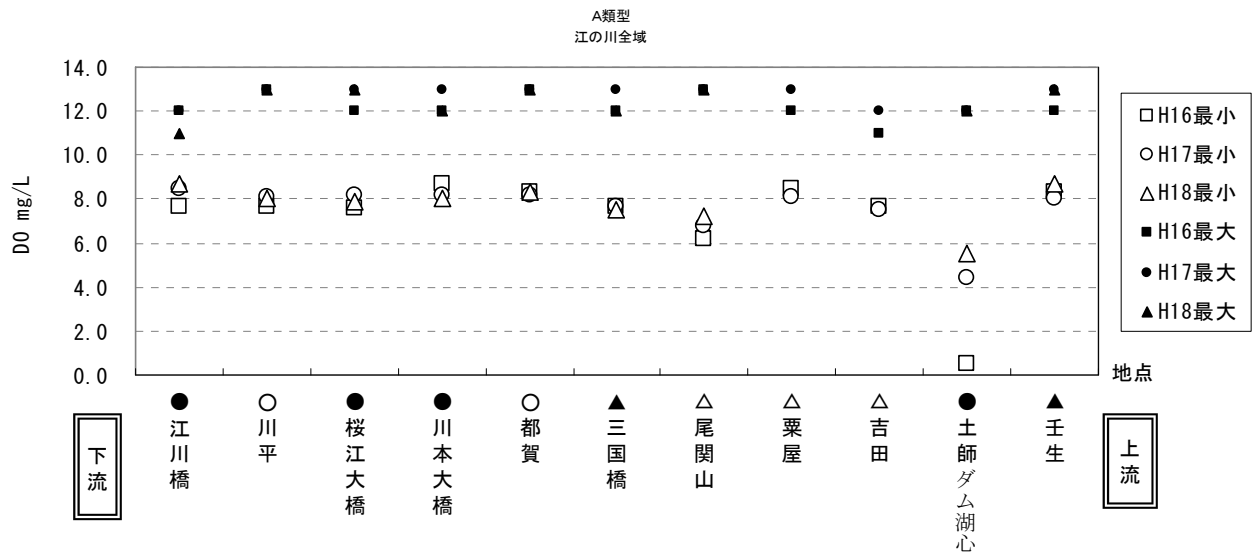
図 6.2 BOD75%値の縦断分布(江の川)



地点：環境基準点 (●) ・補助点 (○) ・流量測定点 (▲/△)

出典：公共用水域の水質測定結果

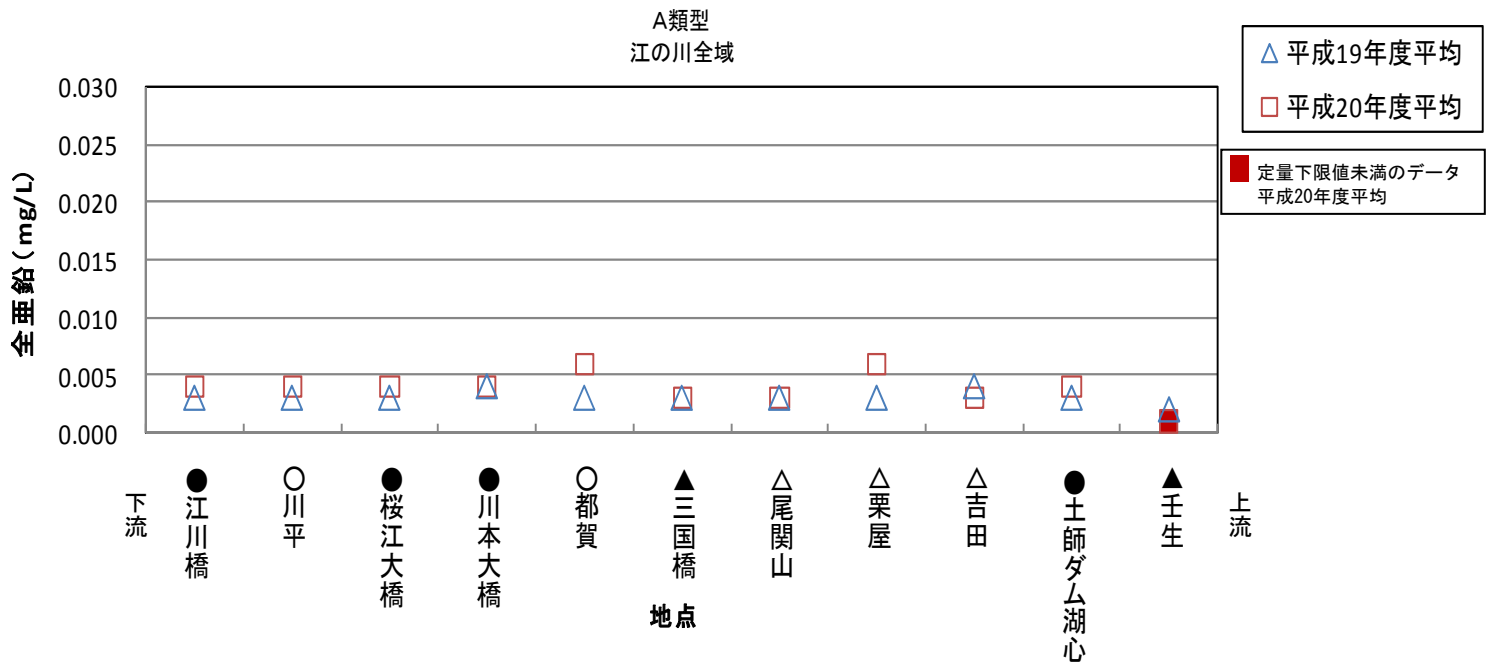
図 6.3 pHの縦断分布(江の川)



地点：環境基準点 (●) ・ 補助点 (○) ・ 流量測定点 (▲/△)

出典：公共用水域の水質測定結果

図 6.4 DOの縦断分布(江の川)



地点：環境基準点 (●) ・ 補助点 (○) ・ 流量測定点 (▲/△)

出典：公共用水域の水質測定結果

図6.5全亜鉛の縦断分布(江の川)

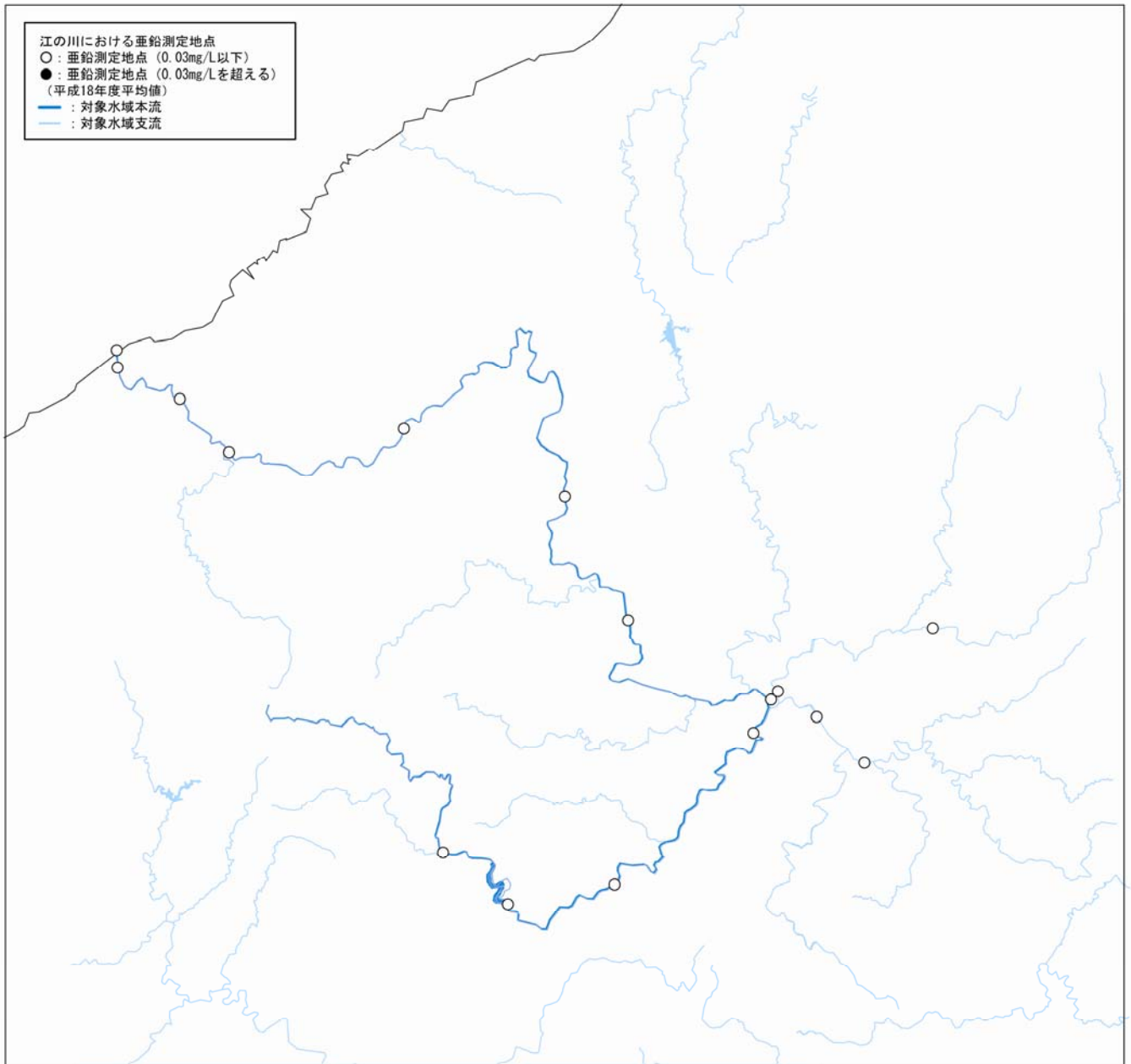


図 6.6 全亜鉛測定地点(江の川)

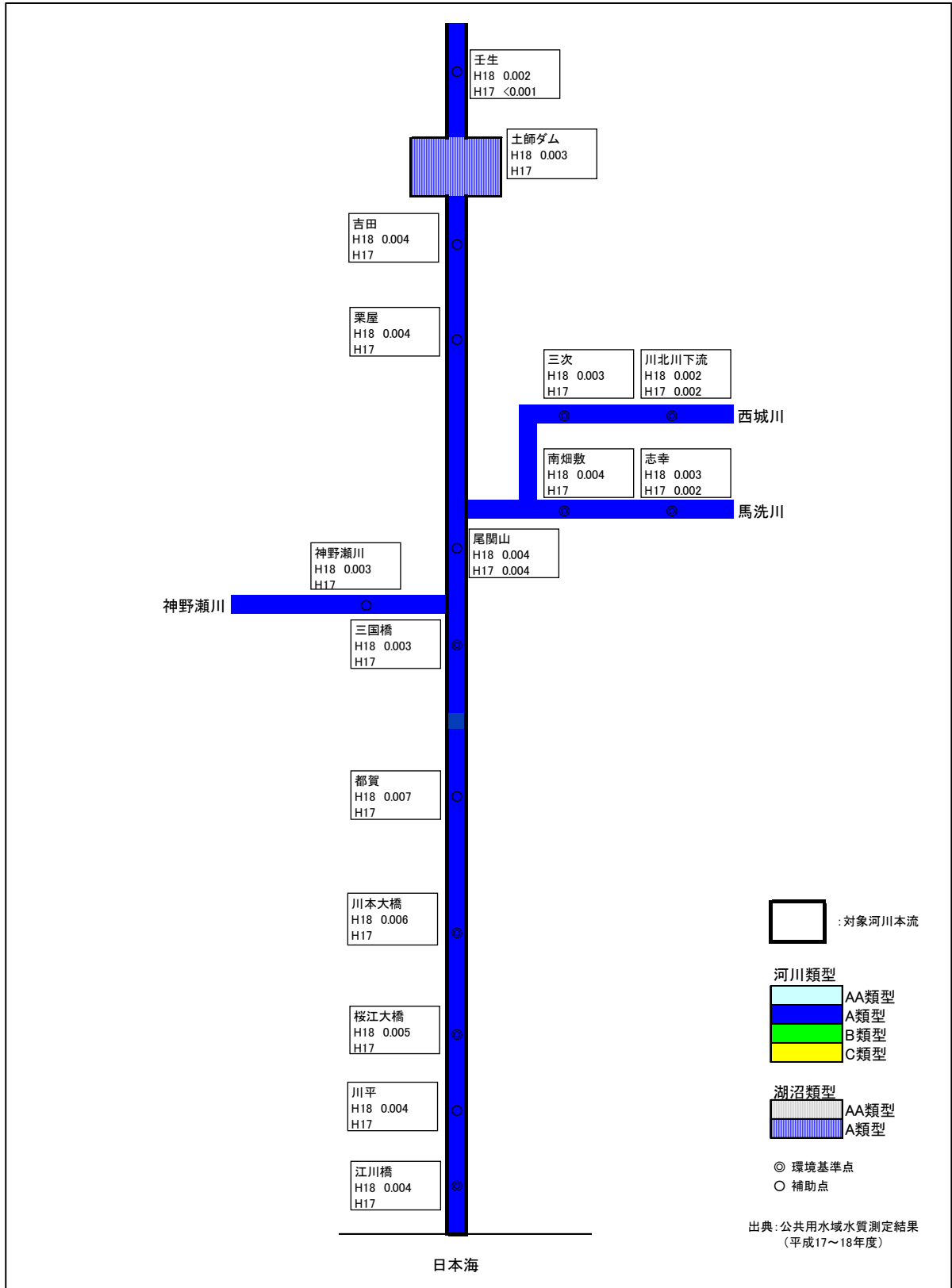
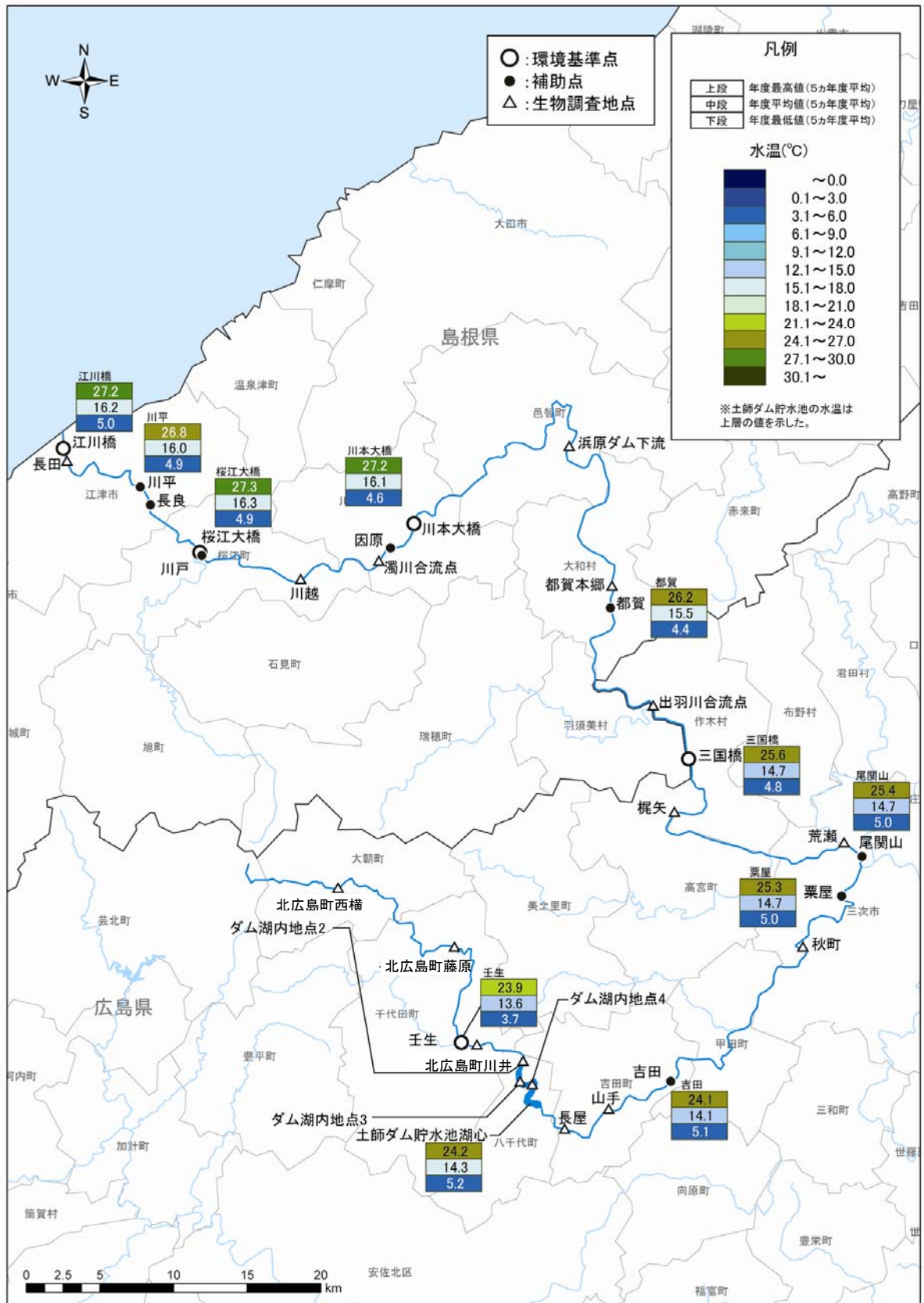
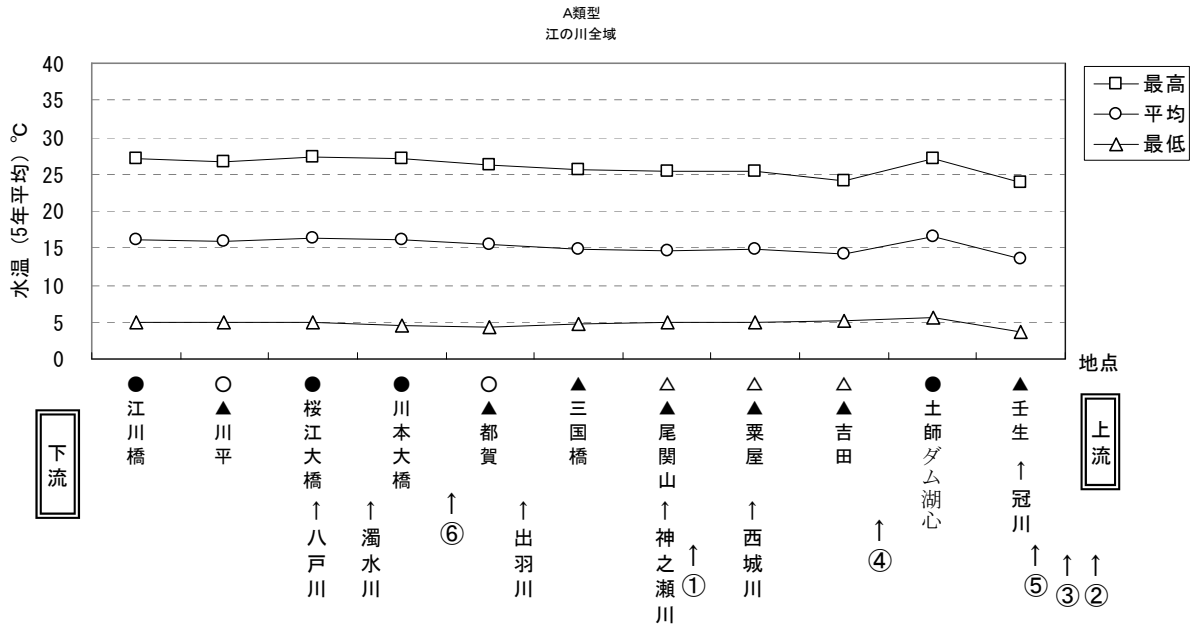


図 6.7 全垂鉛の検出状況(江の川)



出典：公共用水域水質測定結果(平成14～18年度)

図 6.8 水温(江の川)



※最高・平均・最低は、平成14～18年度の公共用水域水質測定結果より、各年度の月平均水温の年最高値・年平均値・年最低値を求め、それぞれ5か年平均した値である。一部で月1回以上の頻度で計測していない地点がある。

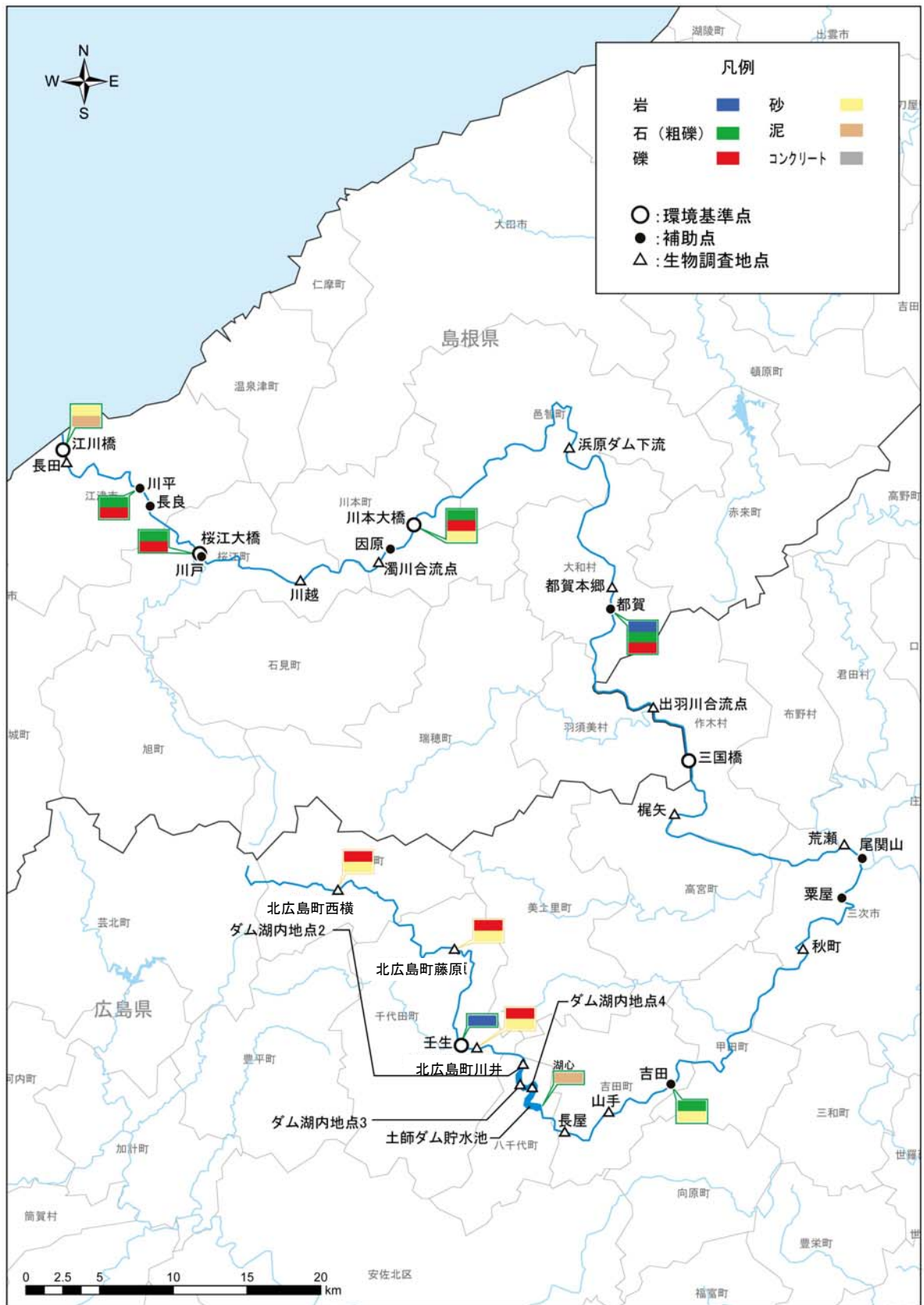
地点：環境基準点(●) ・補助点(○) ・流量測定点(▲/△)

出典：公共用水域の水質測定結果

No	都道府県名	河川	事業名	処理場名	放流水質(H16年平均)		放流量(m ³ /s)	
					水温(°C)	BOD(mg/L)	H16年	計画
①	広島県	江の川	公共	三次水質管理センター	20.9	6.8	0.04	0.05
②	広島県	江の川	特環	大朝浄化センター	17.4	4.1	0.005	0.00
③	広島県	江の川	特環	新庄浄化センター	18.4	3.6	0.01	0.01
④	広島県	江の川	公共	吉田浄化センター	19.9	3.7	0.02	0.03
⑤	広島県	江の川	公共	千代田浄化センター	19.5	1.8	0.03	0.06
⑥	島根県	江の川	特環	邑智浄化センター	0.0	4.1	0.01	0.01

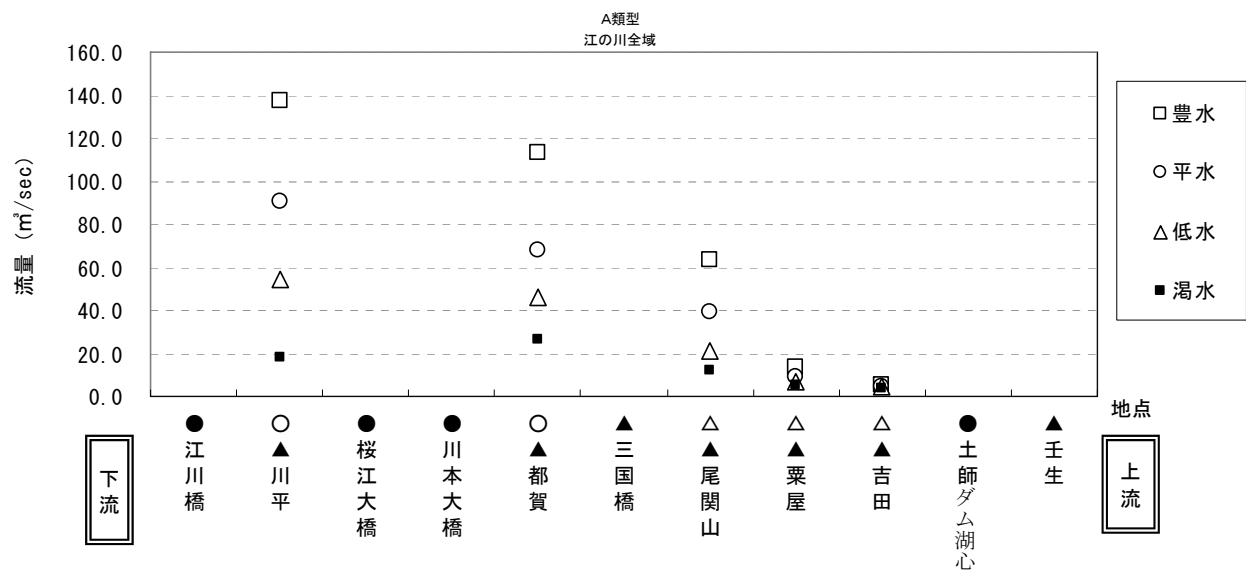
出典：(社)日本下水道協会 平成16年度版 下水道統計(行政編)より

図 6.9 水温縦断分布(江の川)



■ : 環境省調査（平成14年度漁業協同組合へのアンケート結果）より
■ : 広島県 平成15年度「河川水辺の国勢調査（魚類調査編：江の川水系）」より

図 6.10 河床材料(江の川)



地点：環境基準点 (●)・補助点 (○)・流量測定点 (▲/△)

出典：流量年表(国土交通省河川局編, H14)

図 6.11 流量の縦断分布(江の川)

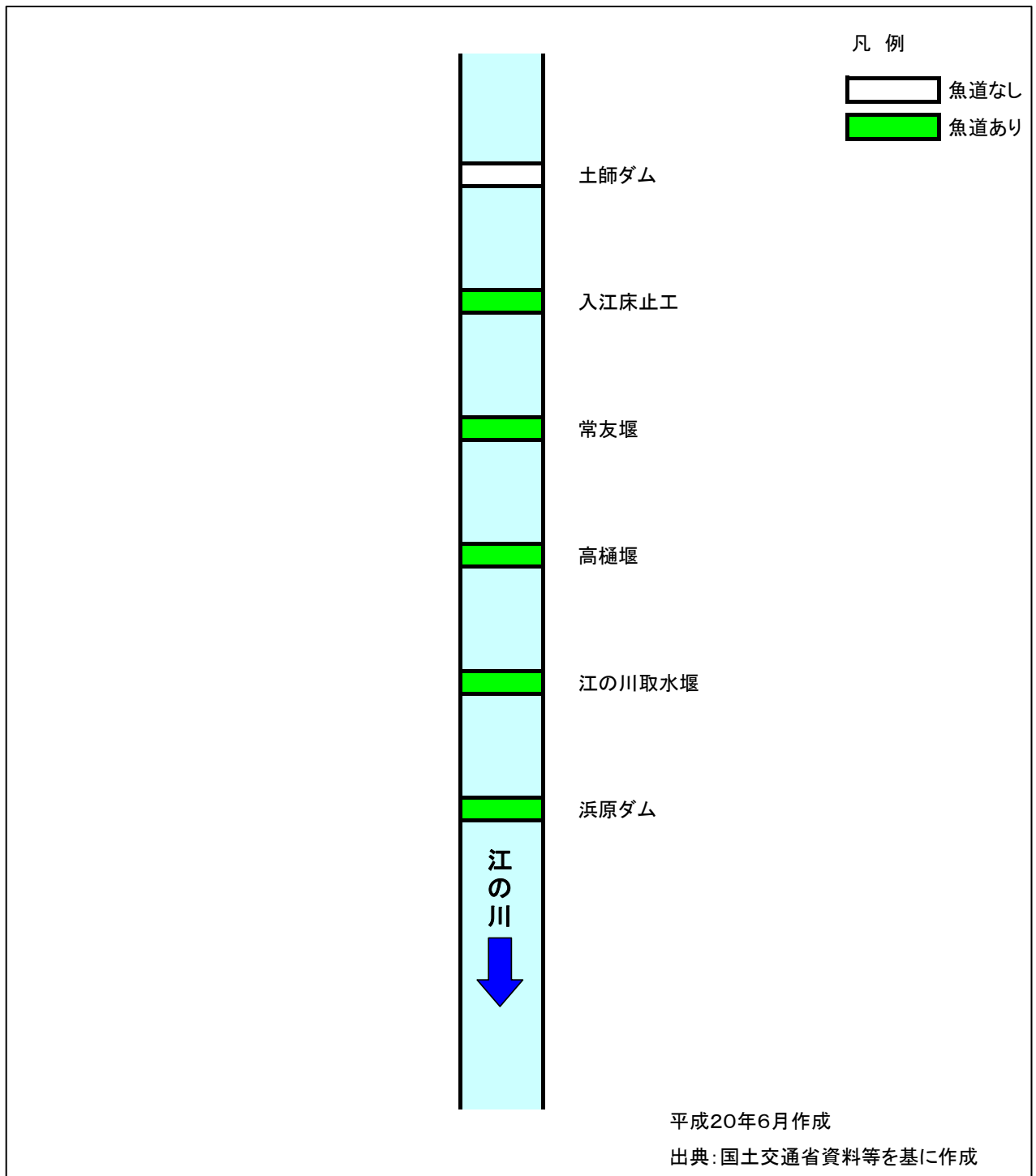
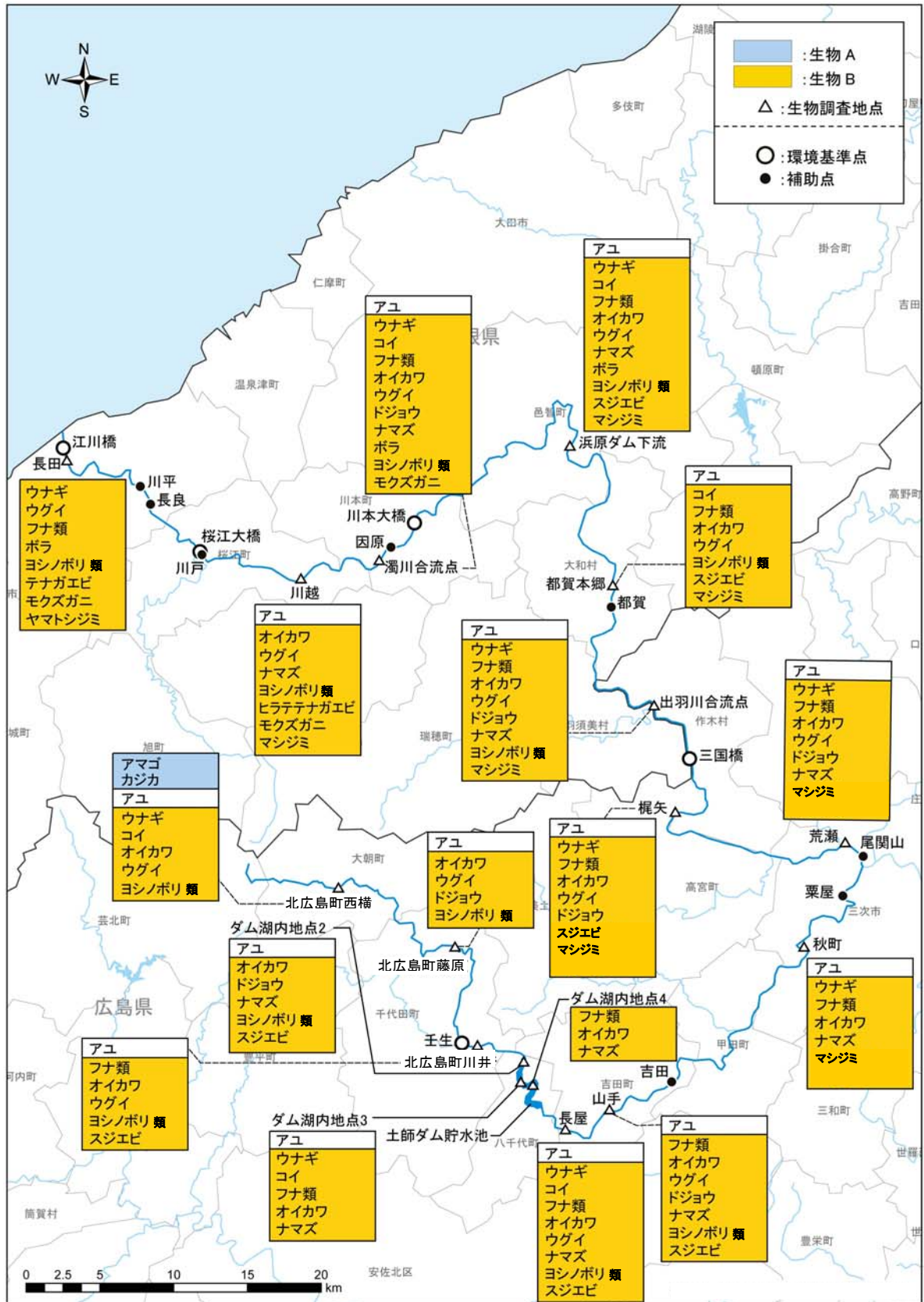


図 6.12 主な河川横断工作物(江の川)



国土交通省 平成15年度「河川水辺の国勢調査」(江の川)より
 広島県 平成15年度「河川水辺の国勢調査(魚類調査編:江の川水系)」より

図 6.13 主要魚介類の確認状況(江の川)

表 6.2(1) 魚介類の確認状況（既存調査結果）(江の川)

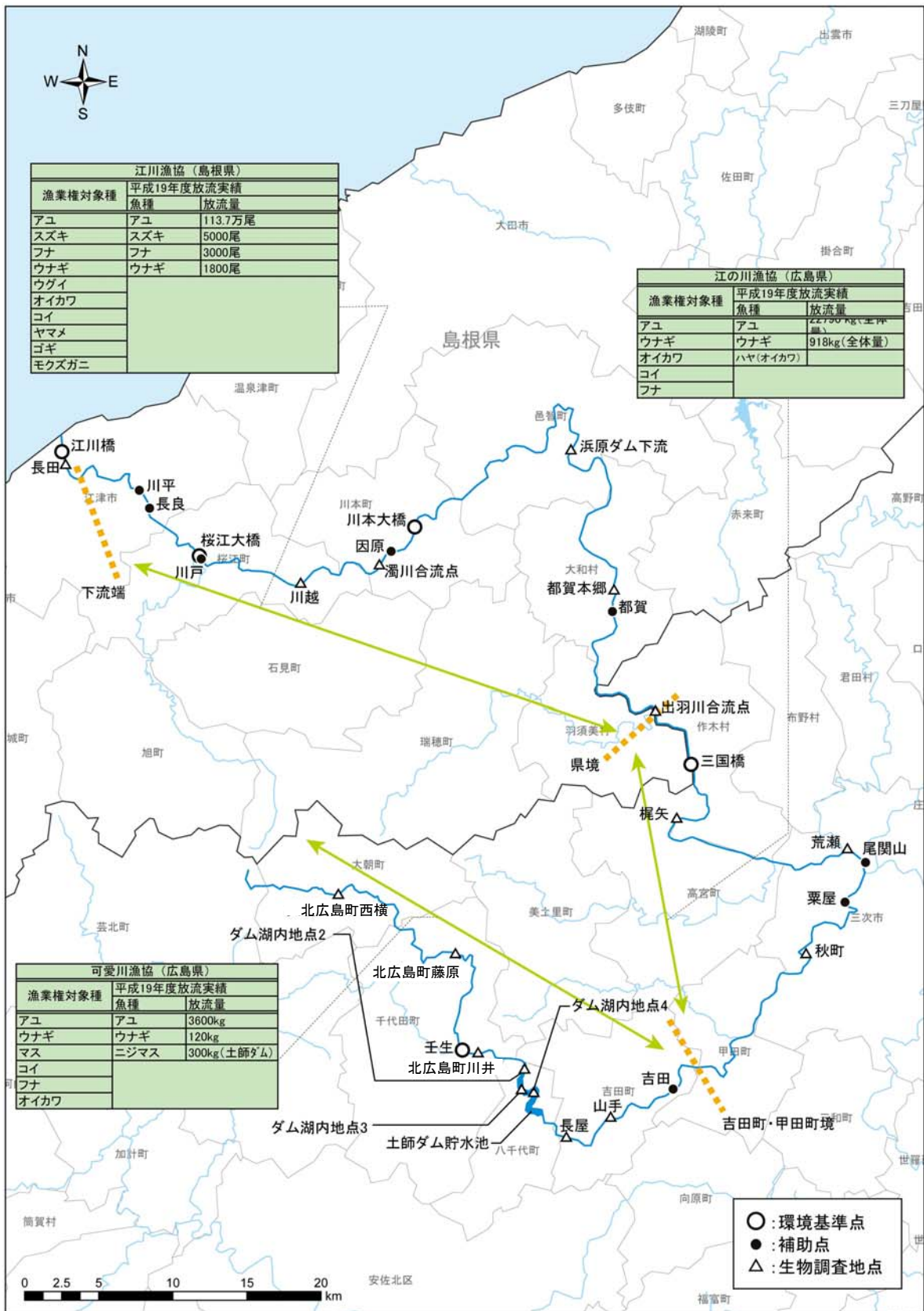
項目・分類・科・種名			調査地点										
			1	2	3	4	5	6	7	8	9		
			長田	川越	湍川合流点	浜原ダム下流	都賀本郷	出羽川合流点	槻矢	荒瀬	秋町		
出典・調査時期	国土交通省 河川水辺国勢調査		国土交通省 河川水辺国勢調査		国土交通省 河川水辺国勢調査		国土交通省 河川水辺国勢調査		国土交通省 河川水辺国勢調査		国土交通省 河川水辺国勢調査		
	平成15年度(7月-8月・10月)		平成15年度(7月-8月・10月)		平成15年度(7月-8月・10月)		平成15年度(7月-8月・10月)		平成15年度(7月-8月・10月)		平成15年度(6月-8月・10月)		
生物A	魚類	サケ科	アマゴ										
		カジカ科	カジカ										
その他	魚類	キュウリウオ科		アユ									
		生物B	魚類	ウナギ科	ウナギ								
コイ科	コイ												
コイ科	フナ類(ガンゴロウブナ)												
コイ科	フナ類(Carassius属の一種)												
コイ科	フナ類(Carassius属の複数種)												
コイ科	オイカワ												
コイ科	ウグイ												
ドジョウ科	ドジョウ												
ナマズ科	ナマズ												
ボラ科	ボラ												
ハゼ科	ヨシノボリ類(シマヨシノボリ)												
ハゼ科	ヨシノボリ類(トウヨシノボリ)												
甲殻類	魚類			テナガエビ科	ヒラテテナガエビ								
				テナガエビ科	テナガエビ								
				テナガエビ科	スジエビ								
貝類	魚類			イワガニ科	メグスガニ								
				シジミ科	ヤマシジミ								
シジミ科	マシジミ												
その他	魚類			アカエイ科	アカエイ								
		カタクチイワシ科	カタクチイワシ										
		ウツボ科	ウツボ										
		コイ科	ヤリタナゴ										
		コイ科	カネヒラ										
		コイ科	タイリクバラタナゴ										
		コイ科	ワケカ										
		コイ科	ハス										
		コイ科	カワムツ										
		コイ科	カワムツ(B型)										
		コイ科	タカハヤ										
		コイ科	モツゴ										
		コイ科	カワヒガイ										
		コイ科	ムギツク										
		コイ科	タモロコ										
		コイ科	ホシモロコ										
		コイ科	せせら										
		コイ科	カマツカ										
		コイ科	ズナガニゴイ										
		コイ科	コウライニゴイ										
		コイ科	イトモロコ										
		コイ科	スゴモロコ(Squalidus)属の一種										
		コイ科	コウライモロコ										
		ドジョウ科	シマドジョウ										
		ドジョウ科	スシドジョウ中製種										
		ギギ科	アカザ										
		ギギ科	ギギ										
		コチ科	コチ(マゴチ)										
		スズキ科	オヤニラミ										
		スズキ科	スズキ										
		シマイサキ科	シマイサキ										
		サンフィッシュ科	ブルーギル										
		サンフィッシュ科	材持バス(クラカバス)										
		キス科	シロキス										
		メダカ科	メダカ										
		メダカ科	クロダイ										
		メダカ科	メダカ										
		ハゼ科	ヨシノボリ類(カワヨシノボリ)										
		ハゼ科	ミズハゼ										
		ハゼ科	ドロメ										
		ハゼ科	ドンコ										
		ハゼ科	ピリゴ										
		ハゼ科	ウロハゼ										
		ハゼ科	マハゼ										
		ハゼ科	アジシロハゼ										
		ハゼ科	ヒメハゼ										
		ハゼ科	ヒナハゼ										
		ハゼ科	ヌマナヂブ										
		ハゼ科	チチブ										
		ヒラメ科	ヒラメ										
		ワケ科	コモンワケ										
		ワケ科	クサツグ										
甲殻類	魚類	テナガエビ科	スジエビモドキ										
		ヌマエビ科	ミソシヌマエビ										
		ヌマエビ科	ミナミヌマエビ										
		ヌマエビ科	ヌマエビ										
		アムリカザリガニ科	アムリカザリガニ										
		イワガニ科	クロベンケイガニ										
		イワガニ科	アカテガニ										
		イワガニ科	ヒライノガニ										
		イワガニ科	ケフサイノガニ										
		イワガニ科	ベンケイガニ										
		スナガニ科	アリアケモドキ										
		サツガニ科	サツガニ										
		貝類	魚類	アマオブネガイ科	イシマキガイ								
				タニシ科	オオタニシ								
				タニシ科	ヒメタニシ								
				カワニナ科	カワニナ								
				カワニナ科	チリカワニナ								
モノアラガイ科	モノアラガイ												
サカマキガイ科	サカマキガイ												
イガイ科	コウロエンカワヒバリガイ												
イガイ科	ドボ(強イヌボ)												
イガイ科	マツカサガイ												
イガイ科	ドンガリサザハガイ												
イガイ科	カサハガイ												

出典：国土交通省H15河川水辺の国勢調査、広島県H15年度河川水辺の国勢調査(魚類調査編：江の川水系)

表 6.2(2) 魚介類の確認状況（既存調査結果）（江の川）

項目・分類・科・種名	調査地点							
	10 山手	11 長屋	12 （ダム土師ダム 湖内地点3）	13 （ダム土師ダム 湖内地点4）	14 （河川流入 ダム湖）	15 北広島町川井	16 北広島町藤原	17 北広島町西横
出典・調査時期	調査時期							
	平成15年度(6月・8月・10月)	平成15年度(6月・8月・10月)	平成15年度(8月・10月)	平成15年度(8月・10月)	平成15年度(8月・10月)	平成15年度(6月・9月・10月)	平成15年度(6月・9月・10月)	平成15年度(6月・9月・10月)
生物A	魚類	サケ科 カマノ科	アマゴ カマノ					○
その他		キュウリウオ科	アユ					○
生物B	魚類	ウナギ科	ウナギ	○				○
		コイ科	コイ	○				○
		コイ科	フナ類(ゲンゴロウブナ)					
		コイ科	フナ類(Carassius属の一種)		○			
		コイ科	フナ類(Carassius属の数種)	○	○			
		コイ科	オイカワ	○	○		○	○
		コイ科	ウグイ	○	○		○	○
		ドジョウ科	ドジョウ	○			○	○
		ナマズ科	ナマズ	○	○		○	○
		ボラ科	ボラ					
		ハゼ科	ヨシノボリ類(シマヨシノボリ)	○	○		○	○
		ハゼ科	ヨシノボリ類(トウヨシノボリ)	○	○		○	○
甲殻類		テナガエビ科	テナガエビ					
		テナガエビ科	テナガエビ					
		イワガニ科	スズメ	○	○		○	
		イワガニ科	モクズガニ					
		シジミ科	ヤマシジミ					
		シジミ科	マシジミ					
その他	魚類	アカエイ科	アカエイ					
		カタクチイワシ科	カタクチイワシ					
		コイ科	キンギョ					
		コイ科	ヤリタナゴ	○	○			
		コイ科	カネヒラ	○				
		コイ科	タイリクバラタナゴ					
		コイ科	ワタカ			○		
		コイ科	ハス			○		
		コイ科	カワムツ	○	○			
		コイ科	カワムツ(B型)					
		コイ科	タカハヤ					
		モツコ	モツコ					
		コイ科	カワガイ					
		コイ科	ムギツク	○	○			
		コイ科	タモロコ			○		○
		コイ科	ホンモロコ			○		○
		コイ科	せせぎ					
		コイ科	カマツカ	○	○		○	○
		コイ科	ズナガニゴイ					
		コイ科	コウライニゴイ	○	○		○	○
		コイ科	イトモロコ	○	○		○	○
		コイ科	スゴモロコ(Squalidus属の一種)					
		コイ科	コウライモロコ	○			○	
		ドジョウ科	シマドジョウ	○	○		○	○
		ドジョウ科	スシマシロウ中堅種					
		ギギ科	アカザ					
		ギギ科	ギギ	○	○		○	○
		コナギ科	コナギ(マゴチ)					
		スズキ科	オヤニラミ				○	○
		スズキ科	スズキ					
		シマイサキ科	シマイサキ					
		サシマシロウ科	ブルーギル	○	○		○	○
		サシマシロウ科	オオクチバス(ワカハス)	○	○		○	○
		モスガ科	シロモスガ					
		アジ科	マアジ					
その他	魚類	タイ科	クロダイ					
		メジナ科	メジナ					
		ボラ科	メナダ					
		ハゼ科	ヨシノボリ類(カワヨシノボリ)	○	○		○	○
		ハゼ科	ミズハゼ					
		ハゼ科	ドロマ					
		ハゼ科	ドンコ				○	○
		ハゼ科	ビリンゴ					
		ハゼ科	ウロハゼ					
		ハゼ科	マハゼ					
		ハゼ科	アシシロハゼ					
		ハゼ科	ヒメハゼ					
		ハゼ科	ヒメハゼ					
		ハゼ科	ヌマチチブ	○	○		○	
		ハゼ科	チチブ					
		ヒラメ科	ヒラメ					
		フグ科	コモンフグ					
		フグ科	クサフグ					
甲殻類		テナガエビ科	スズメエビ					
		ヌマエビ科	ミノヌマエビ					
		ヌマエビ科	ミナミヌマエビ	○	○			
		ヌマエビ科	ヌマエビ					
		アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	○	○		○	
		イワガニ科	クロベンケイガニ					
		イワガニ科	アカチガニ					
		イワガニ科	ヒラインガニ					
		イワガニ科	ケフサイガニ					
		イワガニ科	ベンケイガニ					
		スナガニ科	アリアケメドキ					
		サワガニ科	サワガニ					
		イソナガニ科	イソナガニ					
		コイ科	オオニシ	○	○			
		コイ科	ヒタニシ					
		カワナガニ科	カワナガニ	○	○			
		カワナガニ科	チリメンカワナガニ	○	○			
		モノアラガイ科	モノアラガイ	○	○			
		サカマキガイ科	サカマキガイ	○	○			
		イガイ科	コウロエンカワヒバガイ					
		イガイ科	ドフガ(物イヌマガイ)					
		イガイ科	マツカサガイ					
		イガイ科	トンガリササノハガイ					
		イガイ科	カタガイ		○			

出典：国土交通省H15河川水辺の国勢調査、広島県H15年度河川水辺の国勢調査(魚類調査編：江の川水系)



出典: 島根県、広島県資料・平成18年度ヒアリング調査・平成19年度ヒアリング調査より

図 6.14 漁業権設定・魚類等放流状況(江の川)

表 6.3 魚介類生息状況に関する学識者・漁業関係者へのヒアリング結果の整理(江の川)

項目	ヒアリング結果(回答機関名)		
	上流	中流	下流
魚介類の生息範囲	<ul style="list-style-type: none"> 代表的及び特徴的な魚介類として、アユ、フナ、オイカワ、ウグイ、ウナギ、ヤマメ、ニゴイ、ハヤ、ヨシノボリ等があげられる(可愛川漁協)。 ヤマメ類は本流では、藤原から上流に生息している(可愛川漁協)。 アユは最上流の生息数は多くないが、ほぼ全域に生息している(可愛川漁協)。 コイ・フナ類は壬生下流までと土師ダムに生息している(広島県立祇園北高校、可愛川漁協)。 	<ul style="list-style-type: none"> 代表的及び特徴的な魚介類として、アユ、コイ、フナ、ウナギ、オイカワ、ギギ等があげられる(江の川漁協)。 イワナ・ヤマメ類はほとんど生息していない(江の川漁協)。 コイ・フナ類は中流の全域に生息している。(江の川漁協) 	<ul style="list-style-type: none"> 代表的及び特徴的な魚介類としてアユ、カニ、ヤマメ、サツキマス、ウナギ、スズキ、コイ、ナマズ、ギギ、ヨシノボリ、ドジョウ、オイカワ、ウグイ、ボラ等があげられる(江川漁協)。 サツキマスが浜原ダムより下流及び長良より上流に生息している(江川漁協)。 ヤマメ類は水がきれいな支川に生息している(江川漁協)。 コイ・フナ類は下流の全域に生息している(江川漁協)。
産卵場・幼稚仔魚の生育場	<ul style="list-style-type: none"> 不明である(可愛川漁協)。 	<ul style="list-style-type: none"> アユの産卵場は、本流に4か所ほどある(江の川漁協)。 オイカワの産卵場確保のため、去年から広島県が本流の栗屋周辺の瀬で河床耕運事業を行っている(江の川漁協)。 	<ul style="list-style-type: none"> サツキマスの産卵場が長良上流から浜原ダム下流にみられる(江川漁協)。 アユの産卵場が長良上流から川本下流にみられる(江川漁協)。 ウグイの産卵場は川越にみられる(江川漁協)。
魚介類等資源の保全	<ul style="list-style-type: none"> アユ、ウナギ、ニジマスを放流している(可愛川漁協)。 	<ul style="list-style-type: none"> アユ、ウナギ、オイカワを放流している(江の川漁協)。 	<ul style="list-style-type: none"> アユ、スズキ、フナ、ウナギを放流(江川漁協)。
河川環境	<ul style="list-style-type: none"> 土師ダムには魚道がなく、魚類の移動に影響を与えている(可愛川漁協)。 	<ul style="list-style-type: none"> 土師ダムができて水質が悪化した(江の川漁協)。 	<ul style="list-style-type: none"> 浜原ダムがアユ減少の最も大きな要因となっている(江川漁協)。